

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小湊
	全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	4292 子育て支援センター管理運営事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02020900 子育て環境の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030204 民生費・児童福祉費・子育て支援センター費										
	事業	020000 子育て支援センター管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域社会全体で子育てを支援する基盤の形成を図り、 地域の子育て家庭に対する育児支援を行う						子育て支援の拠点施設として、子育て家庭が抱える育児不安等の相談窓口となり、育児支援のための各種講座の開催を実施。また、保護者の繋がりを支援するための集いの場の提供、子育てサークル等の活動に対して育成・支援を行うなど子育て家庭のニーズに沿った事業を行い、子育て家庭全般の支援を実施している。ファミリー・サポート・センター事務局を置き、地域全体で子育てを家庭を支え合う基盤づくりに努めている。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
開所日数 294日 施設延べ利用者 20,728人	開所日数 294日 施設延べ利用者 22,000人 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、すくすくパパ、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催予定。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		5,977	6,326
特定財源	国庫支出金	1,855	1,847
	都道府県支出金	1,864	1,847
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,258	2,632
人員数(人)	正規職員	1.1	1.1
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	1.0	1.0
人員コスト	正規職員	7,928.8	7,928.8
	嘱託職員	2,705.0	2,705.0
	臨時職員	1,030.0	1,030.0
	計	11,663.8	11,663.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		17,640.8	17,989.8

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	181	各種講座の講師謝礼
11節 需用費	295	事業に使用する消耗品、交流会等の食糧費、クッキング等の賄材料費、ファミリー・サポート・センター用 サポート依頼申請書等印刷費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,501	郵便代、電話料、カーペットのクリーニング代、ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料、託児保育士賃金

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	217	各種講座の講師謝礼
11節 需用費	298	事業に使用する消耗品、交流会等の食糧費、クッキング等の賄材料費、ファミリー・サポート・センター用 サポート依頼申請書等印刷費
13節 委託費	19	庭木剪定委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	30	ファミリー・サポート・センターアドバイザー講習会参加費（隔年）
その他	5,762	郵便代、電話料、カーペットのクリーニング代、ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料、託児保育士賃金

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	子育て支援の拠点施設として、子どもと子育て中の親に寄り添った多様な支援をしている。開催している各種講座も盛況。施設のハード面での課題はあるが、事業内容は充実させている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	子育て家庭のニーズにあった事業を行うことで評価を得ている。父親の育児参加や祖父母向けの講座、中高生やシルバー会員との世代間交流を目的とした講座の開催等、子育て中の母親の支援者の育成を目的とした講座も多数開催している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	子育て支援ニーズに伴う講座の開催のための講師謝礼や参加者の託児のための保育士賃金の増加等がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

子育て支援の拠点施設として、子育ての専門家である保育士を複数名配置し、多くの支援事業を実施するほか、相談業務や情報提供業務をおこない信頼される事業となっている。
施設の老朽化と広さ、駐車場が少ないことに対し要望が出ており課題となっている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

保護者や地域の子育て力の低下が指摘される中、当該子育て支援施設は、子育て家庭にとって、拠り所として大変有意義な施設であり、今後も保護者に寄り添った支援が必要とされる

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

育児支援のための各種講座や保護者の繋がり、子育て相談等の事業実施を通じ、子育て家庭のニーズに沿った支援を図っている。今後更なる事業の充実が求められる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--